

主催事業レポート

親子
対象

とんだ自然楽校 ~竹飯作りと竹林散策~

2012年2月19日(日)



竹の飯ごうにお水を入れて
準備おぼちり!!

今回のとんだ自然楽校は、「竹」をテーマにして『竹飯作りと竹林散策』を行いました。午前中は竹のお箸作りと竹飯を作りました。お箸は細く切った竹をナイフで削ります。初めてナイフを使う子ども達も、お父さんやお母さん、ボランティアのお兄さんやお姉さんに見守られながら、一生懸命に自分のお箸を作りました。

竹飯は、竹の節を利用した飯ごうにお米を入れて、薪でご飯を炊きました。「竹を火にかけてしまうと燃えてしまうんじゃない?」そんな疑問が出てきましたが、切りたての竹は水分を多く含み、燃えてしまう事もなく、どの家族も竹のいい香りのする、おいしい飯が炊き上がりました。

その後は、お待ちかねの昼食です。各家族で持ってきたおかずと竹飯を、午前中に作った竹箸を使って食べました。家族で楽しそうに食べている姿がとても印象的でした。

午後は、青年の家の環境アドバイザー安枝氏を迎えて、竹林の散策に出かけました。人の手が入った竹林と、放置されている竹林を比較したり、竹の不思議や竹の知識をクイズをしながら学びました。楽しみながら竹について学んだ竹尽くしの1日でした。



竹のお箸と竹飯でお昼ごはん♪



平成24年度
新しいメンバーが加わりました!!

★青年の家も新年度を迎え、新しい所員が仲間入りしました! お越し頂いた際は、お気軽にお声かけください★

かめつ じゃんじ
名前: 亀津 淳司
キャンプネーム: かめさん

ホスピタリティーマインド
を忘れず努めます。



よしゆき なつみ
名前: 吉行 奈津美
キャンプネーム: なっちゃん

今年から玄海青年の家の職員として皆さんの活動のお手伝いをさせていただきます。まだ分からないことばかりですが、これから勉強をして早く一人前になりたいと思います。よろしくお願いします。

おがわ いよ
名前: 小川 伊代
キャンプネーム: いよっぺ

初めてのことばかりで、わからない事もたくさんありますが、毎日楽しくをモットーに精一杯がんばります。よろしくお願いします。



玄海所員の小話



連載も第19回目となりました。
「玄海所員の小話」は玄海青年の家で働く所員の日頃気になることや、みなさんに伝えたいことなどをお話しています。
今回は、事務長の『ガリレオ』がお届けします。

『鳥のお話』

所員小話。「ぶちよー」のスズメに続き、今回も鳥のお話です。

青年の家には、毎日小さなお客様が訪れます。「ぶちよー」の大好きなスズメや、キジバト、シロハラ、シジウカラ時にはハシブトガラスも。暖かくなって、貯水池のキンクロハジロやマガモたちはだんだん姿を見せなくなり、今はカイツブリやオオバンたちが入り江で遊んでいます。

2月の終わり頃から春を告げるウグイスの鳴き声が。ウグイスは茂みの中から出てきてくれず、いつも声だけ聞かせてくれます。始めは「キョ」とか「ケキョ」と一声だったのが、3月の中頃には「ケキョ ケキョ」とか「ホー ケキョ」と続き4月の今は「ホー・ホケキョ・ケキョ」と段々上手になっています。みなさんが、よく耳にする囀り(さえずり)が聞こえ出す頃に青年の家では、中学校の「ふれあい合宿」が始まります。

元気な中学生の声で、青年の家がとってもぎやかです。

今年度も、たくさんの入所者の方にいろんな体験や思い出作りのお手伝いができればと思っています。



(オオバン)

玄海
-第24回-
図鑑



↑
カヌー一棧橋から見た桜の木

今年も玄海青年の家では遅咲きながらも、桜が満開になりました。

カヌー乗り場の棧橋では、散った桜の花びらが、水面を埋め尽くし、ピンクのじゅうたんの様で、たいへん美しい風景を見ることができました。

満開の桜並木もいいですが、水面に漂う桜も玄海青年の家ならではの風情かなあと改めて感じました。



水面に浮かぶ
桜の花びら →



●○●インターンシップにきました●○●

永瀧 英一
(えいちゃん)

福岡エコ・コミュニケーション専門学校より、3月26日~4月8日までインターンシップとして青年の家で研修をしました。



2週間、業界研修という形でお世話になりました。仕事とは何か、自分は何をしたいのか...これらの疑問を抱きながらの研修はとても充実し、貴重でした。

今後は研修で学んだこと、得たことを大切にしながら、これからの生活に生かしていきたいです。ありがとうございました。